

川西市のごみ減量の合い言葉



# めざすのは 地球環境にやさしい社会



## 4月から新分別区分が スタートします

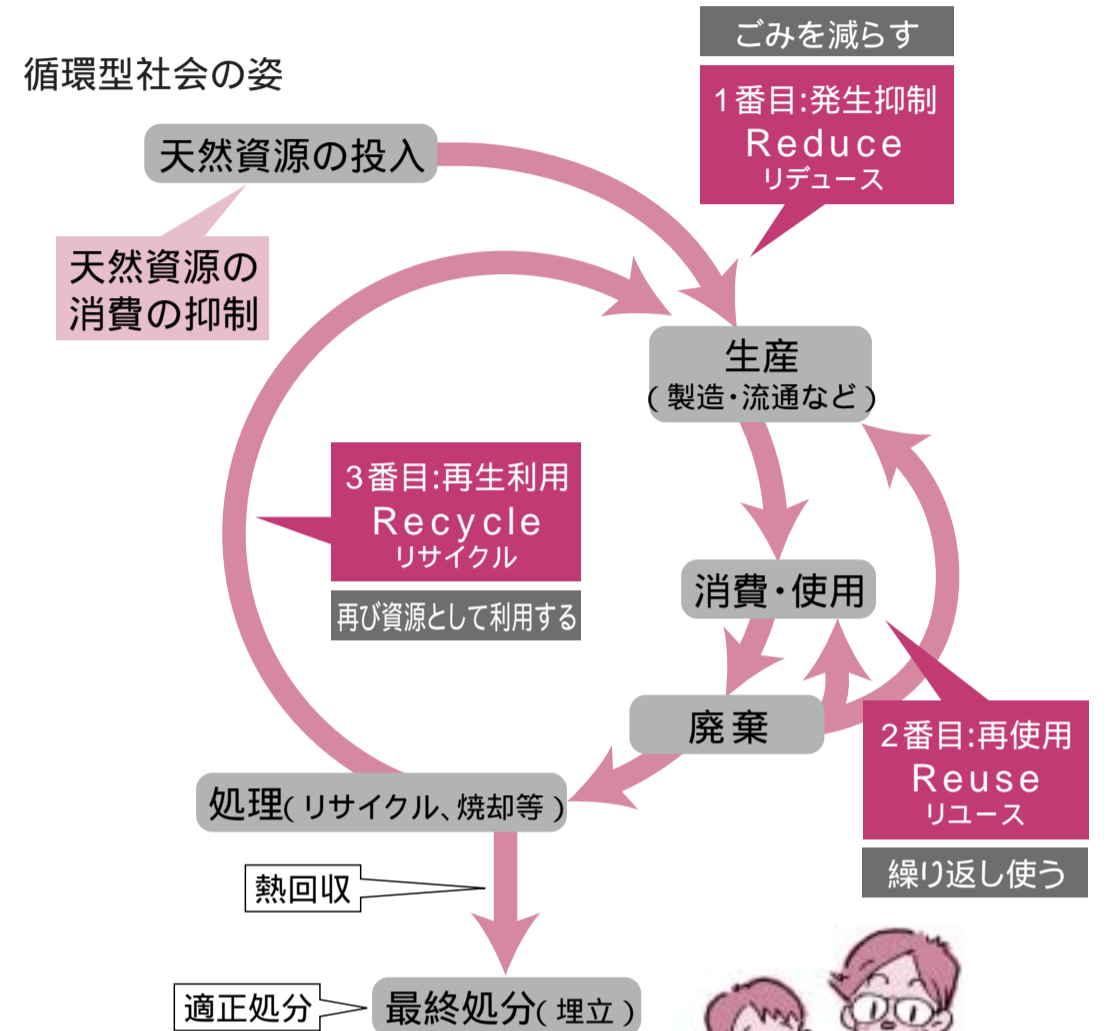
地区別の収集日程や、分け方・出し方の詳しい内容は「ごみの分け方・出し方(保存版)」パンフレットに掲載します

2月下旬発行予定(全戸配布)  
3月9日までに届かなければ  
リサイクル推進課(☎759-4240)へ

## 本市ごみ行政の考え方

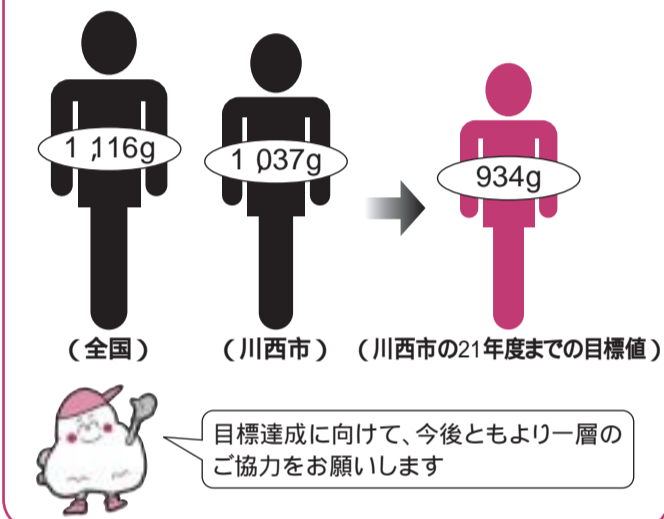
### 循環型社会をつくるために

美しい地球環境を次世代に引き継ぐためには、大量生産、大量消費、大量廃棄という経済社会活動や私たちの生活を見直し、循環型社会を築いていく必要があります。循環型社会とは、ごみの発生をできるだけ抑え、天然資源の消費量を減らし、環境への負荷をできる限り少なくする社会のことです。すなわち、ごみを減らし、資源やものを大切に使う環境にやさしい生活への転換が求められています。

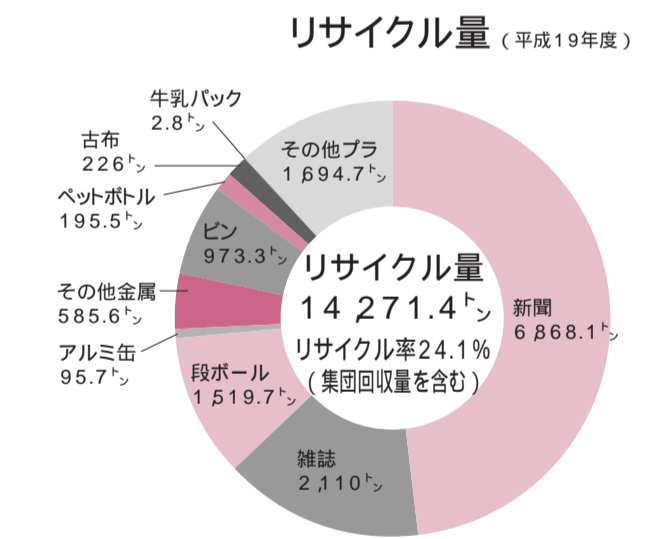


・サポート収集・  
(高齢者・障がい者の戸別収集)  
ごみステーションまでごみを持ち出すことができない一人暮らしの高齢者や障がい者を支援する戸別収集を実施します。  
詳細は「ごみの分け方・出し方(保存版)」パンフレットをご参照ください。

### 1人1日ごみ排出量(全国との比較)平成18年度



## 川西市のごみの現状



ごみ収集処理に掛かる費用  
**25億880万円** (平成19年度)  
ごみ減量の啓発や最終処分場建設に掛かる経費などは含まれません。  
市民一人あたりのごみ収集処理費用(年間) **15,600円**

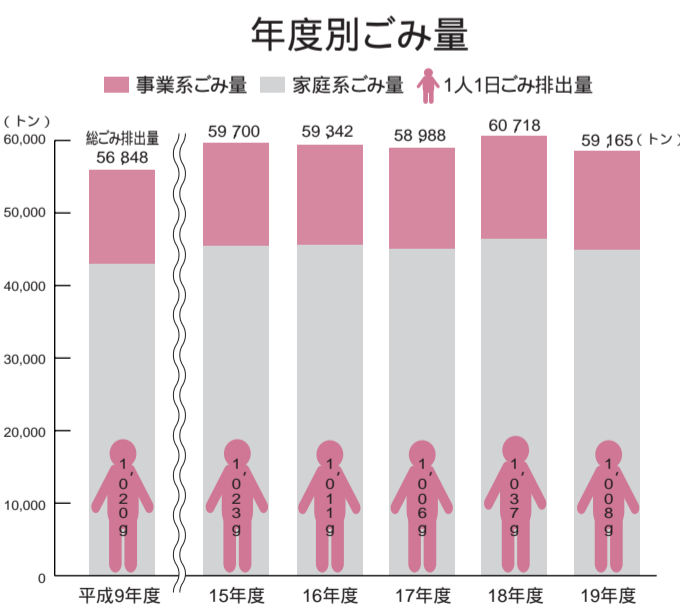
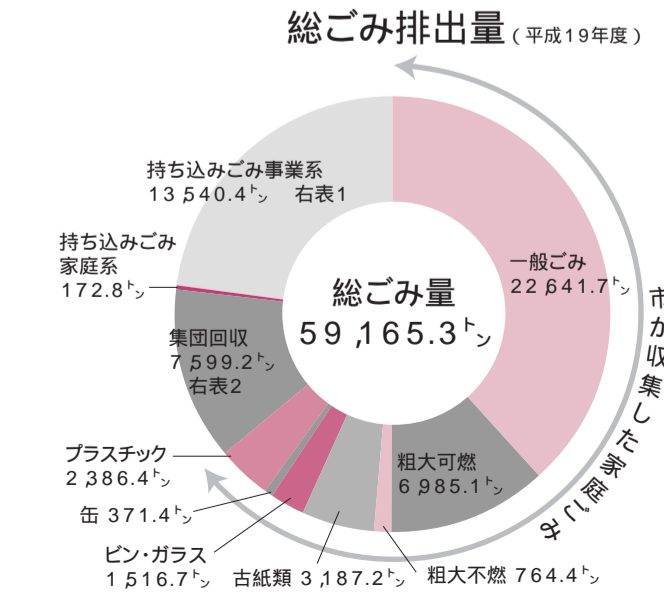


表1 事業系ごみ内訳 (t) and 表2 集団回収内訳 (t)

一般ごみ	11,171.3	新聞	5,214.7
粗大可燃	2,055.1	雑誌	1,322.5
粗大不燃	62.0	段ボール	773.4
ビン・ガラス類	66.2	古布	226.0
缶類	55.4	アルミ缶	59.5
プラスチック類	130.4	牛乳パック	2.8
計	13,540.4	その他	0.3
		計	7,599.2



## 地域説明会を開催

### スムーズな開始に向けて説明会などでPRを実施

自治会などの協力を得ながら、市内全域で説明会を開催しています。



熱心に説明に関心する皆さん

2月の市主催説明会  
と き : 2月26日(木) 午後7時～8時半  
と ころ : 明峰公民館  
参加を希望される方は直接会場へ



実際に実物ごみを用いて説明

- Q. ごみ袋の指定はありますか。  
A. 色などの指定はありません。
- Q. 新分別区分ではごみステーションの場所はなるのですか。  
A. 現在、一般ごみステーションと粗大ごみステーションが別の地域は、燃やすごみとペットボトル、プラスチック製容器包装は、現行の一般ごみステーションに、それ以外のごみは現行の粗大ごみステーションに出すことになります。
- Q. 収集時間は変わりますか。  
A. 収集回数や分別区分の変更、またそれに伴う収集区域の見直しを実施するため、地域によっては、収集の時間が変わります。
- Q. 大型ごみは有料ですか。  
A. 現行どおり無料で収集します。

### 3つのR(アール)を進めよう

循環型社会をつくるためのキーワードを3R(スリーアール)といいます。リデュース(Reduce 発生抑制) リユース(Reuse 再利用) リサイクル(Recycle 再生利用)の頭文字をとった言葉です。3Rには優先順位があります。まず、第一にごみを減らす、次に繰り返し使う、そして最後にリサイクル。この順番でごみ減量を心がけましょう。

兵庫県では、3Rにリフューズ(断る)、リペア(修理する)を加えて「5R」に配慮した生活を推進しています。

1 **R**educe リデュース  
ごみを出さない  
不要なレジ袋を断る。修理をして使うなど



2 **R**euse リユース  
再び使用する  
詰め替え商品を選ぶ。バザーを活用するなど

3 **R**ecycle リサイクル  
いったん原料に戻して  
再び利用する  
ごみはきちんと分別してルールやマナーを守って出すことで、資源としてリサイクルされます。

